

国内・海外経済の不安定化を憂慮

4月の業界WEATHER

全業種平均



前年同月比

概況

GWで温泉旅館や商店街は賑わったが、熊本地震による悪影響が見られ、今後、自粛ムードによる購買意欲の減退を懸念している。更に、中国経済の停滞や三菱自工の不正問題等の影響を不安視する様子も窺える。

製造業	食料品		パンは個人消費が鈍る中、熊本地震や気温上昇の影響で来店客数は減少した。製麺は需要が伸長するも大手企業を中心に中小の苦戦は続く。食肉は豚肉の相場低下により、売上はやや減少している。
	繊維・同製品		桐生織物は婦人服や輸出向けが厳しい中、和装織物は夏物関連の出荷により多忙となっている。伊勢崎織物は小巾織物については小口商いが中心で業況は依然厳しい。繊維製品は熊本地震の影響で販売が落ち込み、受注量が半減した。
	窯業・土石製品		生コンは前橋・高崎地区が引き続き好調も、全体的には苦戦している。コンクリート製品は年度末の公共工事が一段落する中、民間工事も伸び悩み厳しい状況である。碎石は横ばい状態の中、地域間格差が見られる。
	機械・金属		大手電機メーカーの不振や中国経済の停滞により先行きは不安定で、富士重工関連は好調も新規受注品価格が厳しい。また、中国向け建設機械の受注は減少し、鍍金は若干回復傾向にある。一方、三菱自工の不正問題の動向を注視している。
	その他の製造業		木材は製品安と原材料高が続く。紙加工品は食品・通販関連は好調を維持しているものの、全体的にバラつきが窺える。印刷は原材料の高止まりで厳しい状況にある中、受注は低下傾向で、固定費削減により対応している。
非製造業	卸売業		高崎卸は食品関係業者を中心に軽減税率導入を懸念している。太田のリサイクル機械器具卸は東南アジアへのシフトで中国国内の需要不足に対応している。水産物卸は売上増加で好調を維持も、利益率の伸び悩みが今後の懸念材料である。
	小売業		中古車オークションは成約率が伸び悩む。生花小売は新年度の式典で需要が増加するも停滞感は否めず。商店街は気温の上昇やイベント開催で人通りが増えるも売上は低迷している。また、熊本地震による購買意欲への心理的な悪影響を懸念している。
	サービス業		温泉旅館はGWの前半は好調となった。草津温泉では「ファンライドツールド草津」を開催し、小規模旅館の稼働率が上昇した。不動産取引は伊勢崎市域の分譲住宅取引が好調も、販売価格の下落に伴い収益は悪化している。
	建設業		建設工事は平年並みの公共工事量の見通しが立つも、受注の減少傾向は継続している。電気工事は大手と個人事業者の格差が拡大している。塗装工事は仕事量の落ち込みが目立つ停滞時期である。鉄構は先行きが不透明で価格維持に苦慮している。
	運輸業		熊本への災害支援の輸送依頼がある一方で、工場稼働停止による輸送の停滞が見られる。また、首都圏内の高速道路料金改定の影響を懸念している。小型運送は全体では増加するも、建材・事務器の動きが鈍化している。

※本調査は、情報連絡員56人が所属する組合の全体的な景況（前年同月比）です。

県内の主な経済指標

- 鉱工業生産指数(季節調整値) 106.7(前月比▲1.6%)「県統計課・3月」
- 住宅着工戸数 1,059戸(前年同月比+31.2%)「県建築住宅課・3月」

- 求人倍率(季節調整値) 新規1.96倍・有効1.36倍「群馬労働局・3月」
 - 大型小売店販売額 200億円(前年同月比+3.9%)「経済産業省・3月」
 - 消費者物価指数(全国) 103.3(前年同月比▲0.1%)「総務省統計局・3月」
- (鉱工業生産指数・消費者物価指数は22年=100とした指数)